

ヒ素を含むトンネル掘削土 美山総合運動場へ埋め立て断念

山県市が、東海環状道トンネル工事で出る基準を超えたヒ素が含まれていた掘削土を、安易に美山総合運動場へ埋め立てようとした問題は、地元の反発を受けて断念しました。



市は調整会議の場で国道事務所

所から口頭による埋立て依頼説明をつけ、国のやることだからと、ヒ素データの確認もせず、耐久保障15年しかない遮水シ

ートンネルの可能性も検討しませんでした。そして議会に報告もせず埋立て計画を進めていた実態が福井市議の一般質問で明らかになりました。

住民有志ビラが話題に 福井市議が動く

一月二十日、田栗自治会で国

土交通省岐阜事務所と山県市の担当者が出席した「美山総合運動場における建設発生土の盛土について」の説明会が開かれました。福井市議は、この重大性を理解し直ちに本村伸子衆議院議員にも協力を依頼、国土交通省で経過に関する聞き取り調査を行いました（調査結果は別項）。

福井市議は、これらの調査結果にもとづき、一月二十四日議員懇談会の場で①昨年十一月ポ

ータを提出すること、②市長が埋め立てを承認した経緯を明らかにすること、③これらが明確になるまで埋め立て計画をストップすることなどを市長に要求しました。

各地で批判の声あがる

福井市議は、これまでに調べた結果をもって各地域へ出かけたこの重大性を説明し、街頭演説も行いました。その後の

田栗地区有志が発行した「猛毒ヒ素を御所野に持ち込むな」という住民ビラなどが話題になり、谷合地区や笹賀地区、岩佐地区や美山漁協から批判の声が上がりました。「こんな大事なことが、関係する地域に隠されたまま進めることは許されない」など、時がたつにつれ批判の声は大きくなりました。こうした動きの中で田栗自治会は山県市に埋め立て拒否の意向を伝えました。

1月29日、本村衆議院議員による 国土交通省から聞き取り調査（抜粋）

1月20日の住民説明会での資料に基づいて以下の説明がされた。参加できなかった方もみえるので、もう一度説明会を開くとの報告だった。



本村衆議院議員

- ① トンネル掘削は9月頃になる。
- ② 美山総合運動場に埋め立てるのは、ヒ素含有土壌のみで建設発生土全体を入れるわけでない。
- ③ 土壌含有基準はクリアされているが、土壌溶出量基準はオーバーするので土壌対策法に基づく対策が必要になる。
- ④ 建設発生土の盛土方法は三つの方法を示したが、どの方法で行なうかは、学識経験者が委員会で検討している最中で結論は出ていない。
- ⑤ 山県市さんが美山総合運動場を提示されたので、住民のみなさんとの関係は山県市さんの問題になると認識している。

地元拒否、マスコミ各社が大きく報道

一月九日、田栗自治会の役員が市役所を訪れ、御所野にある美山総合運動場への受け入れ拒否を通告し、これを受け山県市はヒ素含有土壌の埋め立て計画を断念しました。この問題は、社会的に大きく注目され新聞やテレビ各社の報道が続きました。NHKテレビは夕方七時のニュースで美山総合運動場を映して報道していました。

山県市には埋めないと市長が、議会で答弁 トンネル工事は秋から

トンネルは全長5kmのうちトンネル工事の約1km分が山県市側です。土壌対策法に基づいてヒ素含有土壌が安全に処理されなければなりません。工事による粉塵対策も求められます。福井市議は、地域住民の安全・安心な生活を守るために、山県市に情報公開を徹底させ、住民自治を発展させるために奮闘する決意を新たにしています。

大企業誘致ではなく 地場産業の支援で地 域経済循環をめざ せ！

今年度「地域経済牽引事業」(水栓バルブ等)」として4100万円が予算計上されました。私は前から高齢化による下請け企業の現状をみて、地場産業の足元をしつかり見据え「大企業誘致ではなく、地場産業への支援」を訴え、平成27年6月の市議会一般質問でも市長に転換を迫りました。この事業は、シャワーヘッドのナノバルブ技術の医療分野への展開の研究を続ける企業などを支援し、新たな事業と雇用を生み出すものと期待します。

水栓バルブ産業 共通項 が多い医療機器分野へ！

経済産業省は2014年の薬事法の改正に伴い、医療機器関連産業への中小企業の参入など事業機会の創出を推進しています。医療機器は品目数が30万

品目以上、一品目当たり生産額が小さいニッチ市場が多く、多品種少量生産及び販売の典型であり、製品が切削・精密加工・高精度金型・精密プレス加工・コーティング等の技術基盤の集合で構成されている点も水栓バルブ産業と似た点があり、5割が100人以下の中小企業で占められています。



美山地区の水栓バルブ工場

山県市の新たな事業展開 で地域の雇用拡大を！

経済産業省も「新規事業の潜在性が大きく、発展は地域の雇用及び経済に大きなインパクトをもたらす」と述べています。山県市の製造業にとって新たな分野を切り拓く重要な突破口になると期待します。

美山北部の生活水準の格差を是正のためには？ オートキャンプ場整備？

グリーンプラザみやまに「オートキャンプ場整備」に4800万円の予算が計上されました。理由は「美山北部地域の住民の生活文化水準の著しい格差を是正する」のためと称し、辺地債を使い整備するとのこと。

昨年の予算審議では「高富の街中のトイレは年間70万円維持費がかかるので閉鎖した」と市民が利用していたトイレが閉鎖されました。今回の事業がなぜ美山の格差是正につながるのか、事業の緊急性や重要性が答弁からは理解できません。

体育振興会への補助金の支給方法が改善される

富岡地区体育振興会では、新年度の各種事業の実施に当たっては、いままでは、補助金がおりのまで、振興会会長と会計さんで10万円近くを個人で立替えて支払いをする状況が続いているとのことでした。

この問題を福井市議が市議会で取り上げ改善を要求しました。その結果、今年度からは総会に向けた理事会で決定された事業計画・予算で申請を受け付け、4月中旬に各振興会の口座に入金されるように改善されました。

美山のかけ崩れ、地元自治会長さんらの奮闘でやっと国道拡幅に！

17年5月の山県市民報の46号や49号でも取り上げてきた美山畑野地区のかけ崩れ箇所が復旧されます。県道事務所と山県警察署、畑野地区の自治会長や役員さんと一緒に福井市議も立ち会い調査など行なってきました。スクールバスも経路になっており、豪雨になって崩れが進行すれば危険な状況でした。県が山側の用地を一部買収して道路の拡幅がされます。

地元自治会の皆さんの粘り強い要請などにより3年半かかの実現されました。率直に言って、災害に強いまちづくりをめざす行政の素早い対応が求められました。

「子育て日本一」の山県市、仲介の役割の放棄だ！

美谷学園の「児童養護施設の移転断念」の経緯を、山県市の「開示資料」に基づいて、市議会で市長に質しました。美谷学園側の説明会の開催要請に頑なに開催を拒否する地元自治会役員の様子、再三にわたって市との協議を進めていた自治会や回覧板署名を進めた団体との協議。誤解と偏見を取り除くべき行政の誤った対応と疑われかねない記述がありました。残念でなりません。詳しい内容は市議会議員「福井かずのこ」検索でiPadを覗いたやつ。